

左片麻痺からの生活の質（QOL）の改善

「ししとうの種もきれいにとれるようになりました！」

利用者情報 60歳代 女性

住居：マンション3階 エレベーター付

病名：右被殻出血（左片麻痺）



病院での外来リハビリ期間が終了となり、職場復帰の希望を持って、リハビリ介入を開始。

介入開始当初から身の回りの動作は自立（FIM125点）、職場復帰を目標としていましたが、訪問でのリハビリを経験することで、目標が日常生活の中での活動に焦点が当たるようになり、生活の質（QOL）の向上をより具体的に目指すようになられました。

「設定した目標が達成される」、「できることが増える」等の変化がある毎に目標の再確認を行い「ドライヤーを使いたい」、「ししとうの種をきれいにとりたい」等、具体的な目標ができました。そこで、リハビリでは肩の疼痛軽減を図りながら、いかに1つずつの動作についての問題点を解決できるかを考えながら介入しました。

リハビリ開始時 FIM125点

経過

11ヶ月後 自転車走行可能となる

15ヶ月後 左手指が調理場面でも使えるようになる（FIM126点満点）

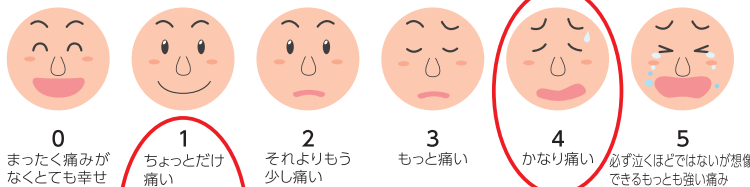
■肩を動かす時の痛み

Face Scale変化

疼痛軽減！

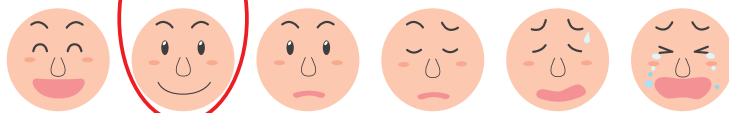
改善！

●介入前



フェイススケール 4点
（高度の痛み）

●現在



フェイススケール 1点
（ほとんど痛まない）

■バンザイ動作の変化

改善!



左肘が曲がり、指の開きに制限あり、手首を返すこともできない



左肘はほぼ真っすぐに伸び、指を開いて、手首を返すことができる

上の戸棚に手が届くようになった!

■バランス能力 (片脚立位)

改善!

介入当初
右 10 秒 左 5 秒



現在
左右ともに 30 秒以上

転倒リスク
軽減!



■日常生活内での変化

改善!



料理時に左手を使い安全に料理できる!



自転車に乗れるようになり行動範囲が広がった!

【現在】

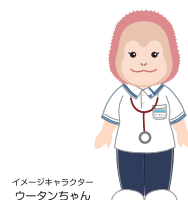
現在、肩の状態は疼痛が気にならない程度にまで改善し、麻痺側である左上肢や手指の不自由さが改善したことから「ドライヤーを使って髪の毛を乾かす」、「野菜を左手で押さえて包丁やピーラーで野菜の下処理ができる」等、脳出血前と同様に整容動作や家事動作などが行えるようになり、喜びの声を頂いています。

また買い物へ行くのに自転車を使用することができるようになったことで、活動範囲が広がり、生活の質(QOL)も向上されていると感じられます。健康維持のため毎日の散歩やラジオ体操を日課にし、ご自宅の家事全般を担いながら充実した生活を送られています。今後もさらに具体的な目標を持ってリハビリに取り組まれていく予定です。



インテリジェントヘルスケア株式会社

〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満 4 丁目 11-23 満電ビル 3 階
TEL : 06-6312-5000 (代表) FAX : 06-6312-5099
<https://nursing.nursing-hc.co.jp/>



ホームページはこちら!

